

平成 28 年 10 月 28 日
資 源 エ ネ ル ギ ー 庁

島根県及び山口県沖合における 石油・天然ガスの掘削調査を終了しました

資源エネルギー庁は、6 月 5 日から実施してきた島根県及び山口県沖合における石油・天然ガスの存在の確認を目的とした掘削調査を 10 月 26 日に終了しました。今回の掘削調査により、各種地質データを取得するとともに目標としていた地層において、薄いガスの層やガスの徴候を確認しました。さらに、最深部で、高圧のガス層を示唆する想定外の強いガス徴に遭遇しました。

1. 事業概要

本調査は、「海洋基本計画」及び「海洋エネルギー・鉱物資源開発計画」に基づき、資源エネルギー庁所有の三次元物理探査船「資源」による探査の結果を踏まえて発見された有望な構造において、地質状況の把握及び石油・天然ガスの存在を確認するために実施したものです。

事業名：平成 26～28 年度国内石油天然ガス基礎調査 基礎試錐「島根・山口沖」
掘削場所：島根県浜田市北西約 130km、山口県萩市西北西約 140kmの海底下に位置する地下構造
掘削深度：水深約 210m、海底面下約 2900m
作業期間：平成 28 年 6 月 5 日～10 月 26 日
委託先：国際石油開発帝石株式会社(事業実施者)
独立行政法人石油天然ガス・金属鉱物資源機構(事業管理者)
掘削リグ：米国トランスオセアン社所有 M.G. Hulme Jr.
※掘削場所の地図、掘削の方法、作業の様子については別添も御参照ください。

2. 調査結果概要

今回の掘削調査では、岩石サンプルや各種地質データを取得しており、今後、当該海域における石油・天然ガスの存在状況を判断する上で、貴重な情報を取得しました。また、浅部において薄いガス層を確認し、以深部でもガスの徴候を確認いたしました。さらに、最深部において高圧のガス層を示唆する想定外の強いガス徴に遭遇しました。

3. 今後の予定

資源エネルギー庁は、掘削調査で得られた地質データの詳細な解析・評価作業を行い、調査海域周辺の石油、天然ガスのポテンシャルの取りまとめを本年度中に行い

ます。今回の国による先導的な調査活動が、我が国石油開発企業による探鉱につながることを期待しています。

今回の調査にご理解とご協力をいただいた地域の皆様にこの場を借りて御礼申し上げます。

資源エネルギー庁では、これまでに取得した探査データから石油・天然ガスが存在している可能性のある構造を相当数見いだしており、来年度以降も、本邦周辺の海域での掘削調査を継続していく予定です。

(本発表資料のお問い合わせ先)

資源エネルギー庁資源・燃料部 石油・天然ガス課長 定光

担当者: 廣田、斎藤、桎尾

電 話: 03-3501-1511(内線: 4641~6)

03-3501-1817(直通)

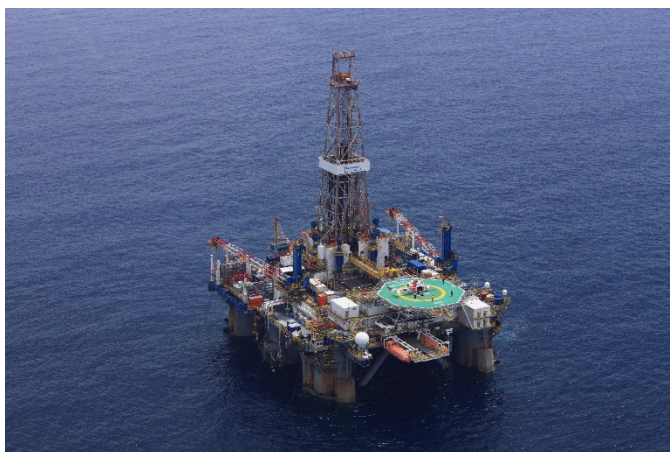
03-3580-8563(FAX)

基礎試錐「島根・山口沖」の掘削地点

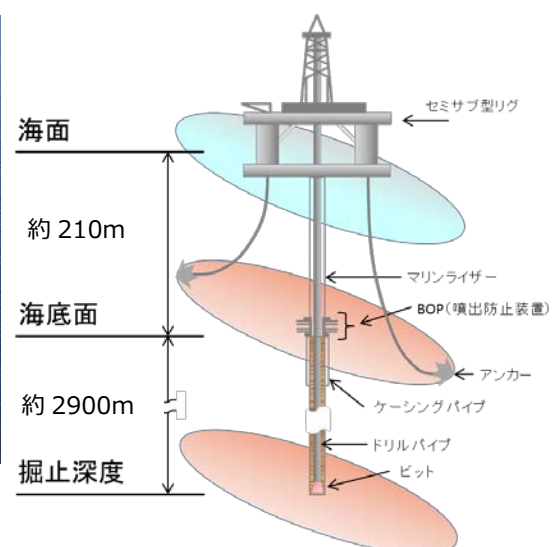


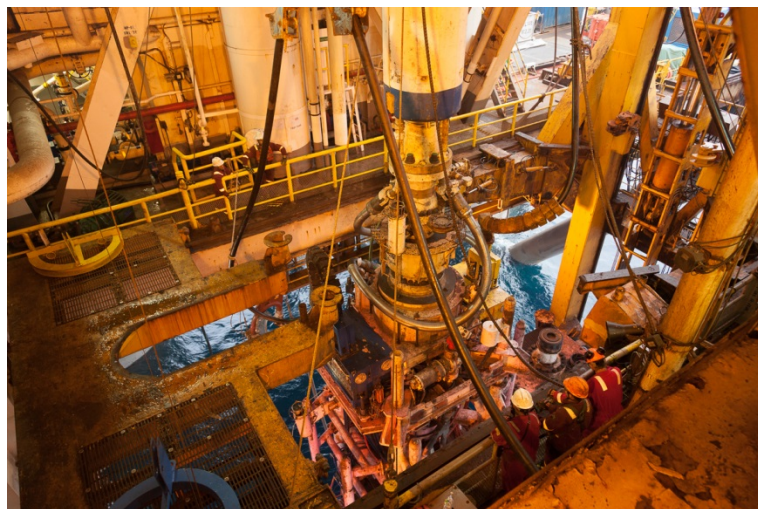
(掘削地点) 島根県北西沖合約 130km、山口県北沖合約 140km、水深約 210m

掘削作業の様子



掘削リグ : M.G. Hulme Jr.





掘削リグ上で、海底坑口装置（暴噴制御装置）を操作している様子（右）

掘削リグ上で、観測装置を坑井内に降下する様子（左）